令和5年度 大垣市指定管理者評価委員会 会議録

日 時:令和5年8月4日(金)午前9時25分から午後4時25分まで

場 所: 大垣市役所 3階 会議室 3-6

議 題:令和4年度 指定管理業務の総合評価について

出席者(敬称略)

(委員) 原田 理人<委員長>

菅田 文子<副委員長>

市來 圭、藤井 えりの

(市及び事務局)

【施設所管部局長等】

企画部

奥田 卓巳(部長) ※所用により欠席

前澤 一成 (情報企画課長)、横山 亮 (情報企画課デジタル推進対策官)

市民活動部

澁谷 敏(部長)、宮内 幸三(まちづくり推進課長)、

小林 晋(市民活動推進課長)

健康福祉部

篠田 浩(部長)、大澤 一弘(社会福祉課長)、

川合 明仁 (障がい福祉課長)、水野 徹也 (高齢福祉課長)

こども未来部

毛利 正人(部長)、浅井 靖弘(子育て支援課長)

経済部

安藤 亨(部長)、中島 茂樹(商工観光課長)、浅野 誠(農林課長) 都市計画部

真鍋 和生(部長)、辻 紳一(公園みどり課長)

教育委員会事務局

平松 善幸(教育委員会事務局長)、

林 昭義(社会教育スポーツ課長)、鈴木 元(文化振興課長)

【事務局】

岩﨑 義博(総務部長)、豊田 貴洋(行政管理課長)、

加藤 重徳(行政管理課主幹)、後藤 澄光(行政管理課主任)

事務局

※ 開会について

<会議冒頭あいさつ>

※ 会議の議事進行を委員長へ依頼。

委員長

一談 設置要綱第5条第5項に基づき、公開することにより審議・協議等の適切

な実施に支障をきたすと認められる情報を含むことから、非公開での開催を宣言。

- ※ 会議録署名者として、菅田委員を指名。
- ※ 令和4年度指定管理施設の状況報告及び指定管理業務の総合評価(案) についての説明を要請。

事務局 | ※ 本日の流れ及び資料について説明。

委員長 ・ただいまの説明について、何かご質問ご意見等がありましたらご発言くだ さい。

委員一同 | ※ 意見なし

※ 議題1 令和4年度 指定管理業務の総合評価について

委員長 | <こども未来部>

委員

・子育て支援課所管施設の評価結果及び運用状況の概要について報告を要 請。

所管課長 | ※ 所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。

・利用者増加に向けた具体的な取組みの満足度向上において評価点が3点中1 点、また、職員の資質確保への取組みの接遇対応において3点中1点ですが、 どのような理由があったのでしょうか。

所管課長 ・職員にそのような意図がない場合でも、利用者や保護者の方との認識の齟齬によりトラブルになったケースがありました。それらに関して、より丁寧にわかりやすく説明すべきであったということで、今回少し厳しく評価しております。

委 員 ・1件、あるいは複数件あったのですか。

所管課長 ・1人2人程度です。

委 員 ⋅職員の対応に関するトラブルが日常的にあるというわけではないですか。

所管課長一・はい。

委 員

毎年、施設の老朽化の中頑張っていますとのことですが、将来に向けた計画などあるのでしょうか。

所管課長

・旧三城保育園跡地に移設を予定しており、令和6年4月の開園に向け、現在 工事を進めているところでございます。

委 員

- ・繊細なお悩みを抱えて孤立されてる方も多いと思いますので、対応が難し いだろうかと思います。
- ・やはり、ニーズ自体がなかなか表面化しないという問題もあると思います。 その点に関してニーズを掘り起こして、早めに対応していくためにこのような施設、サービスがあると思います。このような観点に基づけば、そういうお子さんを抱えておられるご家庭が孤立しないためにも、施設の存在やサービスの内容などの広報に関して、力を入れる必要があると思います。資料に広報についての記載はありますが、施設も新しくなるということですので、今後、行政も含めてどのようにしていかれるつもりか、今どうしているのか、教えていただければと思います。

所管課長

・発達支援について多くの方にご理解いただくために、発達支援講演会というものを年1回開催しております。また、私ども職員が保育園や幼稚園へ出向き、子どもたちの様子を見ることで、そういった子を早く見つけ、早い療育の方に繋げるよう努力しております。

所管部長

- ・一般的な利用施設ではなく、例えば今説明しました保育園などでの相談を 踏まえて利用する施設ですので、皆さん来てくださいと広報をする施設で はありません。来ていただいてもお断りすることになってしまうこともあ る施設ですので、そういったところを配慮しながらになるかと思います。
- ・いろいろな発達障害児であるとか障害児の相談、サポートなどをしながら、 施設の利用に繋がっていき、ニーズの掘り起こしについては、気になる方 のご相談に応じますといった辺からのアプローチになるかと考えており ます。

委員

・もちろん数が増えればいいものではないということは承知しておりますが、ニーズが潜在化してしまうことが非常に課題だと思います。

委員

- ・事業の特性上、激しく利益が上がるようなものではないのは理解をしてお り、一生懸命自主事業を行っておられて、本当に大変なのだろうと思いま す。
- ・自主事業の収支が予算の段階で既に赤字となっている点について、指定管

理業務収支の方を何とか少しでも補填しようという姿勢というのはよく わかりますが、どうしても赤字で予算を組まなければいけなかったのか、 黒字にしておくことはできなかったかが気になります。

所管課長

- ・障害児相談事業というところが、当初から大きく赤字予算で組んでおります。これは指定管理が始まった平成26年度に始めるか協議をして、平成27年度から始まった事業です。
- ・通常、相談事業所という所で、ひまわり学園で行う子どもたちの通所支援 事業をどのように進めていくか、療育を受けていくかという計画を立てて いただきます。
- ・これについてひまわり学園から、自園の子どもたちをよく見て、どういう 計画を立てたらいいかということを、自主事業で赤字になることが分かっ ていてもやっていきたいという要望があり、実施しております。

委 員

・もう少し赤字を縮小する方法はないでしょうか。

所管課長

・次期指定時には、これも指定管理業務に含めることを考えております。

委 員

・どうしても事業自体が特徴的なものなので仕方がない部分はあるにしろ、 そこを何とか少しでも収支均衡に近づけるよう頑張って実現していただ きたいと思います。

委員長

・事務局に対し、評価意見の素案の確認を要請。

事務局

※ 子育て支援課所管施設の評価意見の素案について確認。

委員

・自主事業はある意味評価の対象になると思いますが、最初から赤字で実施 するというような話はどうかと思います。

事務局

・あくまで自主事業においても、儲けはないにしても収支が釣り合うよう実施するか、他の事業では赤字でもこちらでは黒字という形で、成り立つような経営体制はしてもらわなければいけないかと思います。

委 員

・流れとしては、予算の段階で赤字となっていた場合、その時点で所管部局 が理由の確認をするのですか。

事務局

・自主事業ですので市の予算とは関係ないことになります。

委員

・今回ここに出てきて初めてわかるのですね。

委 員

・おっしゃる通り、本来所管課の方でそれを管理しなければいけないと思います。赤字そのままではいけないと指摘していけば、おそらく少しは改善するのではないでしょうか。

事務局

・ご意見を踏まえ「自主事業においても収支均衡に努めることを求めます」 ということを追記します。

委員一同]

※ 異議なし

委員長

<健康福祉部>

・社会福祉課所管施設の評価結果及び運用状況の概要について報告を要請。

所管課長

※ 所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。

委 員

- ・社会福祉の施設ですので、牧野華園のアンケートなどを見ると、やはり人 を対象としており、本当に大変なお仕事をされていると思っております。
- ・職員の方々はいつも大変だと思いますが、定員の充足、施設スタッフの充 足の割合というのは、何か増減の傾向等はありましたか。

所管課長

- ・定員が70名の中、令和3年度までは62名程度で推移しておりましたが、令和4年度は66名まで増えている状況です。
- ・スタッフの充足は、元々加算を取れるような人員配置にしており、コロナ 禍においても特に増員はしておりません。

委 員

・総合福祉会館について、黒字化の項目が0点なっています。収益に繋がらない団体の利用という記載はありましたが、類似の施設はそういう状況ではないので、何か施設特有の事情があったかなどの説明をもう少しお願いします。

委 員

・予算の段階で赤字ですので、その点も含めてご説明をお願いします。

所管課長

- ・予算段階での赤字は、ベテラン職員を配置していることに伴い人件費が高 いという点が理由としてあります。
- ・有料団体の利用が少ないのは、福祉会館は地域福祉施設であり、減免対象の団体の利用が多い施設ということから、利用率や稼働率が上がってもなかなか収益に繋がっていないというのが現状です。

委員

・中川ふれあいセンターとは、そういう意味で違うということですか。

所管課長

・中川ふれあいセンターも有料団体の利用が少ない点は類似しておりますが、令和4年度に関しましては数年に1度のイベントがあり、有料団体の利用が多くありましたので、そこで差が出ております。

委 員

・総合福祉会館と中川ふれあいセンターのBCPに関連する評価が3点中3点となっており、他部署の施設と比較すると高い評価となっています。これは、BCPを策定している点とそれを毎年見直している点を評価されたのですか。

所管課長

・総合福祉会館と中川ふれあいセンターにつきましては、他のコロナ対策を 含めて新たに令和4年度についても積極的に見直しを行っていたため、満 点にしました。牧野華園につきましては、やるべきことは行っているとい う認識はしておりますが、新たな取り組みがなく現状維持であったため満 点にしておりません。

委員

・高齢の方が利用される施設ということで、畳がしんどい、洋式トイレにしてほしいといったアンケートが来てますが、これについてはどのように対応していくか、予定などありますか。

所管課長

・総合福祉会館の方は5階建てになりますが、全て多機能トイレに変更が進んでおります。中川ふれあいセンターと牧野華園については、老朽化に伴う改修の中で長寿命化ということも意識しながら、順次改装しているところです。

委 員

- ・3施設とも設置目的は異なると思いますが、例えば中川ふれあいセンター は貸館事業、施設を貸し出すということに関して、もっと積極的にできる のではないかと思います。
- ・稼働率が、コロナ禍でもありましたから非常に低いところから倍ぐらいになってきていますが、50%いくことがほとんどありません。ホールだと一桁の割合です。この辺については何か改善の余地があると思いますが、いかがですか。

所管課長

・コロナで落ち込んだ稼働率は戻りつつあります。また、コロナによって、 少人数であっても今まで使っていたクラスの会議室より一クラス大きな 会場を使用することによるホールの利用があり、前年度よりも若干数値が 上向いておりますが、大人数を集めるようなイベントはまだまだ復活して おりませんので、ホールを使ってもらえるようなイベントを開催していく ことが、総合福祉会館と中川ふれあいセンターの今後の課題です。

委 員

・総合福祉会館の自主事業について、予算決算の収支がすべて0となっておりますが、これは最初から想定してなかったということでしょうか。

所管課長

・自主事業は指先を使う認知症予防を目的とした折り紙教室と、浴衣を着て みようという着付けのものがあり、いずれもボランティアの先生です。ま た、折り紙についてもボランティアの方の好意で物品も用意していただい ており、予算のかからない自主事業ということで、会館利用に繋げる促進 的側面で実施している事業になります。

委 員

・牧野華園も記載がありませんが、これも同じことなんでしょうか。

所管課長

・牧野華園は、先ほど委員がおっしゃられた通り、設置目的が他の2施設と 異なり、県内唯一の生活保護法に基づく救護施設です。その中での自主事 業ということで、体が何とか動く入所者のボランティア活動として、自主 製品を作り地域の方に配って使っていただく、という趣旨で実施していま す。そのため、これも特に収支に絡むことではなく、利用者の方の生きが い作り、自立支援に向けた活動として行っており、収支のところには上が っておりません。

委 員

- ・やはり何かをやると必ずやっぱり何か必要になって、支出が発生するという話に当然なると思います。予算決算の収支が0だと、健全な会計管理といったものはどうなのかというふうに見てしまう感じも出てきますので、その辺の管理の仕方を考えていただいた方がいいかと思います。
- ・中川ふれあいセンターでは、自主事業の中にはピアノリサイタルなどがありますが、予算の段階では赤字になっています。基本的には赤字予算ではなく、少なくとも収支均衡にしていく努力は必要かと思います。
- ・また、何とか少しでも稼働率を上げていく努力も求められるかと感じました。

委員長

・高齢福祉課所管施設の評価結果及び運用状況の概要について報告を要請。

所管課長

※ 所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。

委員

- ・施設の特性上、仕方がないのかもしれないですが、評価の中で特に収入増や新たな財源といった項目に0点がついており、予算の段階から赤字の施設が多いかと思いますが、所管部局とやり取りして何か取り組んでいることなどありましたか。
- ・一方で、ニーズの把握という項目はすごく評価が高く満点ですが、特に評

価すべき取り組みなどがあって高くなっているのでしょうか。

・危機管理のところでBCPを策定・整備していることは理解しましたが、他の施設の評価ではBCPを策定していれば1点、それをさらに毎年見直しているなど積極的に取り組んでいたら3点といった評価でした。実際の具体的な取り組みについて教えていただきたいと思います。

委 員

・質問にちょっと付け加えさせていただくのですが、特に単年度収支が赤字 の施設で新たな財源の確保、空きスペースなどの活用に努めるとありまし たが、施設の特性上それが何か具体的・現実的に可能なのか不可能なのか その辺りを教えていただきたいと思います。

委 員

・利用者の方が増えることが収入増になると思いますが、例えばデイサービスセンターなど定員にまだ余裕がある施設において、定員を満たすような 具体的な取り組みや働きかけがあれば教えてください。

所管課長

- ・収入増に繋がるものとしましては、利用者が増えるということが直接的に 繋がりますので、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に赴き、施 設のアピールなど営業をかけて、もし利用者が見えたときに使ってもらえ るように働きかけをしています。
- ・空きスペースの利用に関しましては、収入増に繋がるような何かがあるか と言われますと、ちょっと難しいのではないかという認識でおります。
- ・どこの施設も利用者の方へのアンケート調査を行っており、利用者の方が 不満に思われてる点は随時改善に努めています。例えば墨俣デイサービス センターでは、利用者の家族の方から、利用者の施設での様子を知りたい といったお声があったため、施設の状況を皆さんに見ていただけるようブ ログを開設した事例もあり、そういった随時対応している点を評価しまし た。
- ・BCPの策定に関するところでは、特にここ最近はコロナ対応について随時変わっていくこともあり、当初作られたBCPから随時改定されている点、職員間の研修や共有がされている点を評価しました。

委員

・民間でもデイサービスがありますが、それら比較して特に違いというものはあるのでしょうか。

所管課長

・料金は介護保険法で決められていますので、施設の設備といったハード面 や、機能訓練といったそこで実施している様々なソフト面で差がついてく るとは思います。

委 員

・選ばれるのは、営業や働きかけによるものもあるかと思いますが、場所に

よる選び方ももちろんあると思います。それについてはどうでしょうか。

所管課長

・例えば酸素吸入が必要など重度介護の方もみえ、中には受け入れされないような施設もありますが、そういった方も積極的に受け入れるといったア ピールを相談事業所にすることで、利用を増やす努力をしています。

委員

・民間事業者とは違う公的な施設ならではのサービスで、利用者増や収益増 を図っていくのが本来の趣旨なので、単純に営業をかけて利用者をどんど ん増やしましょう、という話でもないのかと思います。そういう意味では そうした面でのサービスの充実など、民間では対応しきれない難しい利用 者さんにも積極的に対応するというのが必要になると思います。

委 員

・かたらいプラザを含めた老人福祉センターで、目標値を大きく下回り点数 が低くなっていますが、コロナ禍以降の回復度合いなど何か特有の課題や 事情があるのでしょうか。

所管課長

・コロナ禍後回復傾向にはありますが、今までであれば退職後の趣味などを、 老人福祉センター等を活用しながらやられる方が多かったんですけれど も、最近は定年が延長になるなど利用される方の絶対数がそもそも少なく なっているというのも要因にはあると考えています。

委員

・スマートフォン教室を開催しているのは、全施設ですか。一般的な感覚では、高齢者特に70代前半の方たちは、これからスマートフォンしか使えなくなる時代がきて、そこに適応しないと生きていけないといった認識をお持ちで、民間の通信事業者にも予約が殺到しているイメージがあります。

所管課長

・スマートフォン教室は全施設で無償で実施しており、こちらの教室も民間 の通信事業者に来ていただいておりますが、非常に好評となっておりま す。

委 員

・自主事業で食事を提供するようなケースがいくつかあったと思いますが、 財源は何を想定されていたんでしょうか。

所管課長

・無償で実施している施設と、お金をとって実施している施設と両方あります。

委 員

・施設の性格上かもしれませんが、そもそも自主事業を想定していない状況 だと思います。一生懸命何かやろうとしてるという姿勢は評価できると思 いますが、例えば墨俣デイサービスセンターに関しましては基本収支が赤 字となっていますので、何かやろうとしても窮屈な状況になっているとい うのが何となく窺えます。これはおそらく他の施設も全部そうで、今後の 課題かと思います。

- ・こういった事業は、入所者や利用者を増やすためにはとても重要なことだ と思いますので、そういう意味で収益事業だけを実施してください、とい う話ではないかもしれないということを先ほどの話で理解しました。
- ・実施していない施設もありますので、足並みをどう整えるかということと、 所管部局の方からどう指導していくかというのも大事なことだと思いま した。
- ・ケアハウスお勝山が約90%と極めて高い稼働率ですが、おそらくスタッフ の方が相当大変ではないかと思います。例えば、ちょっとサポートが必要 な方々が9割ぐらいみえると、大変な騒ぎになるかと思いますがどうでし ょうか。

所管課長

・自立してみえる方が入れる施設ですので、それほど職員がつきっきりで何 か介護しないければならないというような施設ではございません。

委 員

・収益性も非常に高いということで、おそらく稼働率が上がると収入も増え るという単純な構造が見えてくるのですが、社会的には利用者が増えてほ しいという話でもないと思いますので、なかなか表現が難しいですが、先 ほど述べたようなことが気になりました。ですから、自主事業の件につい てちょっとご検討いただいた方がいいかというのが正直な感想です。

委員長

・障がい福祉課所管施設の評価結果及び運用状況の概要について報告を要 請。

所管課長

※ 所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。

委 員

- ・かわなみ作業所について、バザーの売上目標が毎年10万円ずつ高くなるため大変との記載があり、その通りだと思いました。やはり目標と実績が乖離しているように思いますし、毎年右肩上がりの目標を続けていたら、おそらくずっと目標が達成されないような気がしますので、何年か経っていることから、見直した方がいいのかと思いました。
- ・柿の木荘に関しては、浴室設備が整っていないため職員の負担となっているという記載があり、そこは改善の余地があると思いますので、なにか計画などあるのでしょうか。

所管課長

かわなみ作業所の目標値に関しましては、再選定の際にまた事業者とよく 協議をしまして、見直していきたいと考えております。 ・柿の木荘の浴室設備に関しましては改修を検討しておりますので、また変わってくるかと思います。

委 員

- ・かわなみ作業所について、コロナ禍によりバザー等の販売機会が著しく減り、減収となったとの記載がありました。もちろん収支という点でも課題はあると思いますが、やはり利用者の方の自尊心が高まっていくためにも、地域貢献の項目やPRなど地域との繋がりを深めて活躍する機会を作ることが求められるかと考えます。その上で、かわなみマルシェがすごく好評だったというのはいい傾向だと思いますので、もう少しこれに関しての状況と今後の見通しを教えていただきたいと思います。
- ・2施設の満足度について、かわなみ作業所の評価点が1点、柿の木荘が3点 となっていますが、これだけ差がついている理由についてもう少しご説明 いただければと思います。

所管課長

- ・かわなみマルシェは、まだ何回も実施してはおりませんが、空きスペースでバザーを開催したところ、地域の人や利用者のご家族の方などが買いに見えました。指定管理者の自発的な工夫であり、そこで収益を上げることで今の黒字がより一層増えるよう、今後も実施していけるといいと思っております。
- ・満足度については、標準的な場合であれば1点としており、それ以上の取り組みや工夫がなかったという意味合いで、加算しておりませんが、実際には十分な満足度は得ていると思っております。柿の木荘では、コロナ禍でイベント等が中止となる中、余暇活動に利用者自身が実行委員として参加し、利用者の意見を反映するように努めたということ、また、新たに重度障害者支援加算の対象となるような支援体制を整えたことを評価し、加点しました。

委員

・サービス等の充実の項目で、両施設とも3点満点となっています。おそらく評価理由に記載してある、自主製品の販路拡大のためネット販売を導入した点を評価したのかと思いますが、異なる団体が運営されている中で同じような取り組みがあったということは、何か市側から提案等されたのでしょうか。

所管課長

・授産製品は、市の方で授産製品の販売連絡会というのを作っており、両施設とも参加しております。その中のワークショップで、昨年、岐阜協立大学の協力を得て販売促進をテーマに取り組みました。そこで学生の方から、今の時代はネット販売という話もあり取り入れました。

委 員

・危機管理の項目が両施設とも3点満点ですが、BCPを策定してる場合は1点、

それに加えて何か積極的に実施していることがあれば3点にしていると思いますので、何か特別に実施したことがあったのでしょうか。

所管課長

・新型コロナウイルスにも対応した形でBCPの整備・周知をしたこと、また、 引き続いて新たな感染症にも対応できるように実情に即したものにして いる点を評価しました。

委員

・授産製品で作っているものとしては、どういったものがあるのでしょうか。

所管課長

・食品加工では、カステラやかりんとうといったものがあります。農業関連ですと、製品ではありませんが季節の野菜などの販売、また縫製としては 手作りの小物の製造をしております。そのほか、企業からの委託によりダンボールの加工も行うことがあります。

委 員

- ・需要と供給のことも考えて、少し視点を変えて作るもの自体を改革してい くことで、もしかすると収入に繋がっていくものが出てくるのではないか と思いました。
- ・かわなみマルシェはとてもいいアイディアだと思いますし、例えば可能なのであれば、市役所のスペースで公に販売しても結構売り上げが増えたりするのではないかと思います。いろいろ改善の余地はあるかと思いました。
- ・稼働率も極めて高くて、管理側も本当に大変なんだろうというのが見てとれました。全体の話として、今後90%以上の稼働率となっていくと、当然人件費や諸経費も上がってきますから、おそらく収支が赤字寄りになっていくのではないかと思います。そうなると先ほども出ましたが、財源の確保というのがこれから結構シビアな話になると思います。
- ・社会問題を解決する施設ですので、なくてはならないものだと思いますし、 そうであるがゆえに、社会的ニーズから言うとおそらく増やさざるを得な いと思います。それをこれからどう位置付けていくべきなのか、市側受託 側双方とも考えていく必要があるのではないかと思います。そのため、例 えば予算に対して余白があれば、管理部局の方でも埋めていく努力をする ようある程度指導しなければいけないと思いますし、可能であれば、例え ばネーミングライツなど何か社会に支援を求めるのも一つあるのかと思 って伺っていました。
- ・大きな社会問題ではありますが、おそらく加速度的にニーズが高まってしまって、全体の問題として行く末を踏まえて考える状況にならざるを得ないのかと思います。溢れることのないように、ニーズがあれば受け入れられる体制を維持していくことが大事だと思いますので、そういったことを踏まえて、今後を一緒に考えていく必要があるのを非常に強く感じまし

た。

所管部長

- ・障がい福祉分野とデイサービスなどの高齢介護分野につきまして、先ほど 90%を超えて現場は大変という、大変ありがたいお言葉をいただきました が、国は稼働率が90%以上いかないと収支均衡にならないような報酬設定 をしており、おっしゃられるように現場の方には本当にご苦労をかけております。
- ・利用者がどんどん増えていきますが、介護分野と障がい分野は今民間と競合している分野ですので、収支の見通しが立てば民間はどんどん進出していきます。一方で今回ご説明させていただいたみたいに、民間が進出してこないところはやはり行政の責任だと思っておりますが、だからといって赤字でいいとは考えておりません。大切な市民の方からいただいた税金でありますので、苦しいところでもあっても収支均衡にするように、所管部局としては思っております。
- ・市民ニーズが益々増大していきますので、今後市だけでなく民間とも協調・役割分担しながら、現場の方と意見交換しながらやっていければと思っております。

委員長

・事務局に対し、評価意見の素案の確認を要請。

事務局

- ※ 社会福祉課所管施設の評価意見の素案について確認。
- ・赤字の自主事業についても収支均衡にというお話がありましたが、全施設 に影響してくるということで、例えば最後の全体の評価の中にこの赤字の 話を持ってくるという方法も一つあるのかと思っております。

委員

・やはり施設によっても違いますので、所管部局にも認識を持っていただく ために、個別にも入れた方がいいと思います。そうしないと認識を持たな いことも考えられます。

事務局

・総合福祉会館と中川ふれあいセンターに「自主事業においても収支均衡に 努めることを求めます」ということを追記します。

委 員

- ・管理側なのか受託側なのかというところが、ちょっと入り混じって話として出てきてしまうのもあります。こういう視点で指定管理者を管理した方がいいというのと、指定管理者に直接というのもあるので、気をつけなければいけないと思います。
- ・実際に自主事業の収支均衡というのは、もしかしたら管理部局の方がきちんと指摘していく必要があるのかもしれないとも思いましたがどうでし

ようか。

委 員

・指定管理者に対する指摘というよりも、管理部局に対する指摘ともとれる かと思います。

委 員

・おそらく今回の話で管理部局側への意見が結構多くなるのではないかと思います。

事務局

・確かに評価結果には、あくまで指定管理者に対しての意見を想定していますが、言及してもおかしくはないかと思います。

委 員

・評価結果は残りますので、残した方がいいとは思います。人が変わってい くことで、そういうのは聞いていない見ていないといった話になると困り ますので、記録として残しておくといいかと思います。

事務局

・最後に「管理者側も含めて適切な施設運営をする」ような表現を入れます。

委員一同 | ※ 異議なし

事務局

※ 障がい福祉課所管施設の評価意見の素案について確認

・委員の皆様からかわなみマルシェについてのお話がありましたので、具体的な名称として入れた方がいいでしょうか。

委員一同 | ※

※ 異議なし

事務局

※ 高齢福祉課所管施設の評価意見の素案について確認

委 員

・前からこの評価のときに必ず議論になり、先ほども最後に出ましたが、や はり民間事業者でも実施しているけれども、公的な施設としての役割を果 たしてほしいといったことを入れた方がいいと思います。

事務局

・例えば「公的な施設として、民間と競合している施設ではありますが、民間ではできないことに積極的に取り組むことを期待します」といった内容はどうでしょうか。

委員

・民間では充足できないニーズを満たすことを期待するという意味ですね。

委 員

・先ほどの話のように、管理者側に求めることなのかもしれないですね。

委員一同

※ 異議なし

委員長

<経済部>

・商工観光課所管施設の評価結果及び運用状況の概要について報告を要請。

所管課長

※ 所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。

委 員

・公設地方卸売市場ですが、来場者数が増えているにもかかわらず合計点が低くなっています。これは評価項目の多くが2点中1点になっているのもありますが、目標指標についてもコロナ禍前の設定だったのか、やはり右肩上がりの目標のため、たくさん来られてるにもかかわらず目標も上がり達成できないといったことになっています。この目標値を見直すなど、そういったことは考えていないでしょうか。

所管課長

・市場開放等の来場者数はコロナ後徐々に増えてきており、今後さらに増えていくと考えております。また、イベントの開催回数自体も徐々に増やしており、そういったこともあって増えてきておりますので、今後目標値もこのままで考えております。

委 員

- ・勤労者総合福祉センターに関して、満足度向上の項目が2点となっており、これは利用者アンケートでニーズの高い講座を、自主事業で実施してることと関係してるかと思います。利用者のアンケートを実施していることとそこからニーズを把握していることかと思いますが、一方で、ニーズには合わせているけれども利用者数の目標値に関しては大きく届いていない評価になっています。この点に関して、今利用していない人を増やしていかないと増えないだろうと思う一方で、もうそもそも実態としてはなかなか厳しいということもあるかと思いますので、その点について教えていただきたいと思います。
- ・職業訓練センターに関しては、目標指標の項目で配布依頼先を拡大した点 を評価してありましたが、広報に関しては他の施設に通ずることだと思い ますので、具体的にどこにどのような形で拡大したのか教えていただきた いと思います。
- ・特別支援学校が近くにあり場所を提供されていることは、公の施設として とても意味があることだと思いますので、この施設に限らずそういったこ とをやっていけるといいと思いました。
- ・公設地方卸売市場に関して、業者が入っていない空きスペースを活用して 財源確保していく必要があるとの記載がありましたが、どのくらい空きスペースがあるのかという点と、利用の見通しが持てそうなのか教えてくだ

さい。実際市民としては、情報がたくさん入ってくるようになり、マルシェとかもたくさん行われて盛況だというイメージも持っていますので、そのあたりもう少し詳しく教えていただければと思います。

所管課長

- ・勤労者総合福祉センターの利用者増加の部分ですが、令和3年度4年度はコロナの影響もあってなかなか伸びておりませんでした。そこで、市の実施している多くの講座のうち定期的に行う市民活動系の講座などを、勤労者総合福祉センターに持ってくることができないか、また、自主事業で実施している部分についてもう少し増やしてできないか、指定管理者と協議しております。
- ・デジタル化・オンライン化等を進めていくことでも、新しい利用者に何と か繋がらないかと思っており、そういったことを少しずつ積み上げていき たいと思っております。
- ・職業訓練センターにおける配布依頼先の拡大については、おそらく公共施 設系のところを増やしたのではないかと思います。
- ・公設地方卸売市場の空きスペースの件ですが、大垣共立銀行のATMだけ置かれていた場所が令和5年3月までで空き、また、市場関係の団体も令和5年3月で一つ抜けたため二つ空き店舗が増えましたので、その部分をこの秋までの間に新たに募集をしたいと思っております。できれば、市場関係の取扱いをされる事業者にぜひとも入ってもらい、中で売買していただければ一番ありがたいと考えております。

委 員

- ・勤労者総合福祉センターについて、地域連携の項目が2点中1点となっておりますので、先ほど職業訓練センターの評価として出たように地域との連携を図ることで利用者あるいは利用団体増に繋がり、おそらくそこから更に収入や財源確保へも繋がっていくのではないかと思いました。
- ・公設地方卸売市場の危機管理が3点中1点で、BCPの整備がほぼ完了してるということですが、ほぼということはまだ完全ではないため1点になっているのかと思いました。他の施設ではコロナのこともあって、コロナだけでなく他の感染症対策も含めた積極的な取り組みもあり、3点となっている施設もありました。そういう意味で、ここは不特定多数の方が多く来場するイベントもしているとすると、BCPにもっと積極的に取り組んだ方がいいのではないかと思います。

所管課長

- ・勤労者総合福祉センターの地域連携等による利用者増に関しましては、おっしゃる通り、まずは地域の方に使っていただければと思っております。 また、施設の存在を知らない方もみえると思いますので、そういった方への周知等は今後していきたいと思っております。
- ・公設地方卸売市場のBCPの件につきましては、この指定管理者の方で順次

進めてはいるところですので、また整理して整備していきたいと思っております。

委 員

・勤労者総合福祉センターですが、自主事業の予算が赤字となっている理由 はなんでしょうか。

所管課長

・サービス利用者への還元の意味を含めましてこちらの事業を行っている部分もあり、このような予算になっております。

委 員

・収支予算については寄せ植え教室だけ計上されていますが、他の事業は実施する予定ではなかったということでしょうか。

所管課長

・記載しております事業はそれぞれ毎年実施しておりますが、各種講座につきましては東海労働金庫のご協力のもとで開催しているもので、経費が掛かっていない事業となっております。

委員

- ・実際に予算と実績が合っていない感じがします。職業訓練センターもそうですが、結果として何か理由があってできなかったのは問題ないと思いますので、予算の段階では黒字もしくは収支均衡にするよう工夫が必要かと思いました。
- ・公設地方卸売市場の利用実績に青果保冷庫や附属店舗棟という項目があります。これに貸出数が出ていますが、貸し出しによる収入があるということなんでしょうか。

所管課長

・はい、面積割での使用料が市に入っています。

委 員

・青果保冷庫の稼働率が100%となっています。例えば、こういったところ は保冷庫を増やすということは考えられないのでしょうか。それによって 収入を増やせるのではないかと思います。また、卸売場棟の稼働率も高く 感じますが、ニーズがあり今後も高い水準での推移なのか、ここからは減 少していくのかといった、将来に向けてどういう可能性があるかもお聞か せください。

所管課長

・青果保冷庫については、付属営業人の1社から保冷庫を増やしてほしいとの要望がありますが、億単位の話になりますので、なかなか難しくお応えできていない現状です。市場全体の売り上げが右肩上がりの状況であればそういった投資もあるのかもしれませんが、現状右肩下がりでピーク時の10分の1の売り上げになってしまっている中では、なかなか難しいと考え

ています。

・卸売場棟につきましては、今の付属営業人の数が維持されていけばこのまま何とか維持できるかと思います。新たな営業人といいますか、出店者など新たなプレーヤーに来てもらい、これが更に上がるよう期待しています。

委 員

- ・ちょっとその辺の見通しがどうなのかが気になるところではあります。
- ・自主事業の予算は計上がなくハッピーマルシェという項目だけ入っていま すが、そもそも想定がなかったということでしょうか。

所管課長

・自主事業については既存の関係者の中で出店して実施しておりますので、 特に費用は掛かっておりません。また、収入については各店舗の売り上げ ですので、指定管理者に入ってくるものは特にありません。

委 員

・やはり何か仕掛けなければ売り上げも増えないと思います。なかなかもう 難しいということであれば、もう本当に粛々と縮小の方向に行かざるを得 なくなる可能性もあるかと思いますので、そういった可能性はどうなんだ ろかと思いました。

所管課長

・正直、市場全体がちょっとジリ貧なところがありますので、少しでもよく なるように新たな自主事業を提案してもらい一緒に検討していきたいと 思います。

委員

・市と一緒にどういう方向性を持たせられるかということを考えていかなければいけないと思っています。ですので、それの可能性に対して、例えば指定管理者に対しどういうアプローチをしたらいいのか、または努力義務をどうしていくのかなど、アプローチの仕方を考えなければいけないと思います。

所管部長

・本業の方が伸びていかないと、様々な面で収入として上がってきませんの で、市としてはそのようなコミュニケーションが必要かと思います。

委員

・ハッピーマルシェでは出店料をとってはいないのですか。

所管課長

・今はとっておりませんが、結構売り上げのある事業者もありますので、外 部からの出店者についてはいただく必要があるかと考えており、指定管理 者とも協議しております。

事務局

・その出店料があれば、それが自主事業収入になります。

委 員

・何か売り上げを上げようとするアイディアとしては、例えばさっきの保冷 庫の話ですけれど、稼働率が高くまだまだ使いたいというニーズがあるな らば、市が整備するのは億単位の話で難しいとすると、PFIなど活用して 民間事業者に任せ、民間が投資してそれで回収するというようなことを考 えてみるのも、一案かと思います。

委員

- リースもあるかと思います。まだ何か方法があるのではないかということですね。
- ・億単位もかかるものなんですね。

所管課長

・規模が大きく、パレットのままフォークリフトで直接搬入できるようなも のになります。もし作るとすると、トレーラーの荷台より大きいものにな るかと思います。

委員

・冷蔵庫ではなく、部屋のような感じなんですね。

所管課長

・そういうのがあれば、さらに取り扱い量が増えるんじゃないかというご提 案ではあるのですが、難しいという状況です。

所管部長

・さきほどのPFIというのも一つの方法かと思いますが、やはり設置する企業の投資回収やメリットが薄いのではないかと思います。

委員

・保冷庫があると、例えば利用する人が増えて、市内での販売を増やせるような話にはなるのでしょうか。

所管課長

・当然新しい冷蔵庫ができれば、今まで取り扱えなかったものも取り扱えるようになり、鮮度が保たれるということもあると思いますので、新しいお客の獲得には期待感はあるとか思います。

委 員

いろいろなことができると思いますので、ご検討いただけるといいかと思います。

委員長

・農林課所管施設の評価結果及び運用状況の概要について報告を要請。

所管課長

※ 所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。

委 員

・西部研修センターに関しては、人気講座の講師が不在とありますが次の見通しがあれば教えてください。

- ・時山文化伝承館について、刺し子教室を週1回に減らし、それによって目標値を下回ったため評価点も下がっているとのことですが、もう継続が難しいということなのかその辺の実情を教えてください。
- ・一之瀬ポケットパークに関しても同じような側面があるのかと思います。 両施設は目標値が下回ったこととサービス向上の取り組みの評価が低い ことに伴って60点を割り込んでいると思いますので、その辺についてもう 少し詳しくお聞かせください。

所管課長

- ・西部研修センターの人気講座につきましては、館長とともに一生懸命働き かけしておりますが、なかなか見つからない状況でございます。
- ・刺し子教室につきましては水曜日と土曜日の2回開催しておりましたが、 そのうちの土曜日をやめました。その理由としては、高齢化によるものも ありますが、土曜日に参加される会員の方が極端に少なく、水曜日の方が 多い状況であることと、教室と併せて一日中施設の管理運営もしてますの で、そういった負担もあって開催をやめたというものです。
- ・一之瀬ポケットパークにつきましては、朝市団体等による利用のみのため、 施設を使って指定管理者と他の団体とでコラボして何かできないかとい う働きかけもありましたが、実現するにあたって様々な課題も出てきたと いうことで、なかなか前に進んでいかないのが現状です。

委 員

・西部研修センターで講師の方が見つからないとのことですが、講師料が見合っていないなど、何か理由があるのでしょうか。

所管課長

・お金の面というより、それなりの講師の方がなかなか見つからないと聞いております。

委員

- ・身近なところで安価でそういった講習が受けられるのも、直接的な利用者 増に繋がるのではないかと思いました。
- ・時山文化伝承館及び一之瀬ポケットパークについて、コロナの影響がまだ 抜けきっていないということですが、例えばもう1年程度経って世間的に 脱したとなったときに、それでも影響が残ってしまうかもしれないと感じ ました。

委 員

- ・せっかく業務効率化などを図って黒字になっておりますが、事業が縮小してしまい、縮小均衡で何とか保っているというのが何とも残念に思えます。
- ・先ほども出ましたが、西部研修センターでの人気の講座で講師が見つからないというのも、時山文化伝承館での刺し子教室が高齢化により開催回数 を減らしてしまうというのも、担い手がいないためかと思います。年月が

経つとともに担い手の世代交代をしてかないと続かないと思われるので、 そういう世代交代が図れるような取り組みを考えないといけないと思い ました。

委 員

・一之瀬ポケットパークの自主事業について、収入の決算額が23万8,000円、 支出が0円になっております。全体の収支が、29万4,000円の黒字となって いることを考えると、自主事業の黒字は極めて重い数字だと思いますが、 支出は全くなかったということなんでしょうか。

所管課長

- ・もんでこかみいしづのイベントに地域振興会の方がいろいろなものを出展 するような形の事業と、一之瀬ポケットパーク周辺の清掃整備があります が、コロナにより実施できませんでしたので、費用は発生しておりません。
- ・自販機手数料は設置しておくだけで収入になりますので、経費は掛かって おりません。

委員長

・事務局に対し、評価意見の素案の確認を要請。

事務局

- ※ 商工観光課所管施設の評価意見の素案について確認。
- ・勤労者総合福祉センターと職業訓練センターにつきましては、先ほどと同様「自主事業についても収支均衡を図るよう求めます」ということを、付け加えることになるかと思いますが、いかがでしょうか。

委員

・勤労者総合福祉センターで、地域もしくは地域住民に加え、もっと施設の 周知を行って利用者増を図ることや施設の利用に繋がることを期待する といったことを、市側としても考えているなら入れた方がいいと思いま す。

事務局

・今のご意見を踏まえ、「更なる施設の利用に繋がるよう、地域住民に加え、 広く施設の周知をしていくことを期待します」ということを追記します。

委員一同

※ 異議なし

事務局

※ 農林課所管施設の評価意見の素案について確認

委員

・事業の継続可能性を追求するなど、いなくなったら終わりというスタンス ではなく、需要を満たしていくということの努力をしていただけないとい けないかと思います。

委員一同

※ 異議なし

委員長

<市民活動部>

・まちづくり推進課所管施設の評価結果及び運用状況の概要について報告を 要請。

所管課長

※ 所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。

委 員

・ニーズの把握という評価項目はほとんどの施設が2点満点ですが、三城地 区センターと和合地区センターと宇留生地区センターと川並地区センターが1点となっています。何か他の地区センターと比較して、1点になる理 由があれば教えてください。

所管課長

・基本的にはアンケート調査を実施し、結果についてしっかり公表している ところについては評価をしております。アンケートを実施して、公表や意 見を取り入れていろいろなことを実施してない施設については、若干低い 点としております。

委 員

・アンケートを実施しているが、公表してないということでしょうか。

所管課長

・どこまでが公表かというところがあると思いますが、各地区センターにつきましては地区センター運営委員会というのがありますので、そこで基本的には公表します。その後、さらに市民の皆様に公表するといった段階がありますので、そこの対応によって評価が分かれます。

委員

・どんどん公表していった方が情報公開という意味でも、また利用者や市民 の目からの評価という意味でいいかと思いますので、今回1点となった施 設に関しては、もう少し積極的に公開した方がいいかと思いました。

委員

- ・目標値の利用件数や利用人数のコロナ禍からの回復の度合いは、SNSの活用をやってるところが早いため、それを横展開していくというご説明があり、これから期待できるのかと思います。
- ・利用件数や利用人数に関わる大きな要素ではないかもしれませんが、孤独・孤立対策推進法が5月末で成立して、大垣市も子ども食堂に力を入れてくれることを期待するのと、これから子ども食堂が地域のインフラになっていくだろうことを考えると、北地区センターを子ども食堂に活用しているというのは凄く重要視するべき事例じゃないかと思います。
- ・所管部局が違うかと思いますが、他の地域でも子ども食堂は実施している けれども地区センターを利用していないのか、そもそも子ども食堂自体ま

だ広がっていないのか、どうでしょうか。子ども食堂を地区センターで実施しなければいけなというわけではないですが、やはりふさわしい場所だと思いますので、子ども食堂の所管部局の展開とあわせて、今後地区センターの活用を推進していくといいと思いますので、いかがでしょうか。

所管課長

・庁内で子どもの居場所作りについての検討会を進めており、子ども食堂の話も出ております。直接の所管課ではありませんので、どこで実施しようとしているのかはわかりませんが、我々としてはもちろん積極的に協力していくつもりですし、各地区センターにおきましてもやはりそういったニーズがありますので、協力していこうという思いがあります。

委 員

・他自治体でも、物理的な子どもの居場所として地区センターを活用することで地域コミュニティが活性化し、施設の意味もより増したという事例も たくさんあると思いますので、ぜひ引き続き進めていただきたいと思います。

所管課長

・赤坂東地区センターなどでは地区センターが中心となって実施しておりますので、それが広がっていくといいと私も考えております。

委 員

・決算で単年度赤字が出ている施設について、何か特有の問題等補足などが あればお願いします。

所管課長

・単年度で赤字ではありますが、前年度の繰越を見込んだ予算を立てており、 それを含めると黒字にはなります。しかし、単年度で黒字になるよう、や はり経費の見直し等を実施していかなければいけないと思います。

委員

・目標指標ですが、コロナ禍前に設定したため右肩上がりになっており、回 復しつつあるけれども目標値も上がり続けるので、追いつけない感じになっています。コロナ禍前の水準に戻るかどうかという点で目標値を据え置くか、むしろ高齢化や施設の老朽化が進んだため見直すなどしたら、おそらく目標及び達成度の評価は変わってくるかと思いますが、どうでしょうか。

事務局

・現指定期間については、5年間の統一した基準での評価ということになら ざるを得ないところがありますが、次期指定期間の選定の際に、右肩上が りという側面やコロナ禍前後で変わってきた実情・利用のニーズも踏ま え、適切に各所管課で検討した目標設定となるよう準備をしているところ でございます。

委 員

・地域によって様々な温度差があるのだと思いますが、これは属人的な要因 なのか、または地域的な要因なのか、どうでしょうか。

所管課長

・やはり館長のスキルというところが大きいように感じます。皆さん何とか やっていこうと頑張っていると思いますが、その中で例えばSNSが得意で あるとか、教職のOBであればそういった方面のいろいろな事業を考えてい くなど、そういった面があるかと思っております。

委 員

- ・人の問題もなかなか難しいかと思いますが、なんとかうまくやっていただ きたいと思います。
- ・予算立てについて、多くの施設が収支0円となっておりますが、何か意図があるのでしょうか。詳細項目が決まっている中で、収入と支出が綺麗に合うというのは、前例踏襲に見えてしまうように感じました。もちろん実際の決算値は違ってきますが、予算の立て方自体は工夫ができるのではないかと思います。基本的に時代や社会情勢が動いている状況の中で、ゼロベースとまでは言わないまでも、その辺の見直しというのはあってしかるべきではないかと思います。収入と支出の立て方は、基本的には積み上げていった額がどうなっているのか、その根拠は何なのかというのが普通必要だと思いますので、そういったことを管理していただけるといいかと感じました。
- ・サービス向上への取組み、健全化・効率化への取組み、業務遂行体制の確保の3項目について、多くの施設が半分以下の点数ですが、厳しく評価した結果なのか、それとも、これどうなんだろうかというような疑問がついた結果なのでしょうか。

所管課長

・評価できる内容が複数の評価項目に当てはまることもある中で、どこかに 当てはめて加点をしていかなければならないため、いろいろ実施していて も点数が伸びないこともあります。そういった意味で厳し目の評価という 認識でおります。

委 員

- ・多分厳し目に見たんだろうと読み取れましたので、それはそれでいいので はないかというふうに見ていました。
- ・西地区センターで、ネスカフェアンバサダーを入れて100円コーヒーの利用を促し収入増に心がけたとありますが、これは自主事業なのでしょうか。

所管課長

・自主事業の項目にはちょっと上がっておりません。

委 員

・これはお金を取って提供するという形なわけで、利用があるということは

100円といえどもそれなりにコストがかかるものなので、それが反映されてるかどうかが気になりました。

・和合地区センターでは自主事業の項目に記載がありませんが、これはそも そも想定してなかったのか、コロナの影響によりできないという感じだっ たのか、どうなんでしょうか。

所管課長

・一部を除いて基本的には各地区センターは、地区センターまつりというものを自主事業で実施しておりますが、おっしゃるとおりコロナの影響によりそれがそもそも位置づけられていない施設もありました。

委 員

・これだけの数がありますので、例えばあそこの施設は実施するのでこの施 設もやってみないかなど、トータルでの管理の仕方もあるのかと思います が、そのような横の繋がりといったものは、あまりない感じなのでしょう か。

所管課長

・毎月1回館長会議というのを実施しており、そこでいろいろな情報交換を しております。例えば先ほどの地区センターまつりにつきましても情報が あれば一覧表で提供するなどし、新しい事業を実施した施設があれば紹介 してもらうなど、毎月1回は実施をしております。

委 員

・そういう状況で報告があっても実施しないというのは、やはり人や地域の 違いなんでしょうか。

所管部長

・先ほどの質問にも関係してきますが、やはり地区によって色がすごくあるかと思います。高齢者の方の感染をすごく気遣って実施を控えている施設もあります。実は今年度もそうでして、横の連携を考えた際に、もう元に戻そうという施設もあれば、やはり地区の声としてもうちょっと控えてほしいという施設もあり、その辺の方針の違いがどうしても出てきてしまうのかと思います。館長や運営委員会の実行力が強くても、地元の意見や声に気を使っている地区もあるような印象があります。

委 員

管理部局としては横並びになるようにすることは考えていないのでしょうか。

所管部長

・考えてはおりません。逆にそこを干渉してしまうと直営と変わらなくなり ますし、地元の意思が最優先だと思います。

委 員

・指定管理全体の流れとして、収益性を求めなければいけないということを お伝えするようになってから劇的に変わったのは地区センターで、とても 理想的な運営の仕方にも切り替わってきたと思います。そういった経緯もありますので、積み上げるような、発展的な形で物事を進めていければいいかと思っております。人の問題、いろいろなことがそこに帰着すると思いますが、それを何とか仕組みとして解決できるようにご検討いただきたいと思いました。

委員長

・市民活動推進課所管施設の評価結果及び運用状況の概要について報告を要請。

所管課長

※ 所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。

委 員

- ・多目的イベントハウスはすごく知られていて、よく音楽系のイベントを開催しており、その周知も十分行われてるように思います。若い世代の方が わかりやすい施設になっていますので、いろいろある市の施設の中でも、 結構使いやすいものであると認識しております。
- ・コロナ禍前に戻るのはまだ時間がかかるかもしれませんが、これを継続していければいいのではないかと思いました。

委 員

・目標指標の実績が低くなってるために点数が伸びていないのがこの施設の 特徴だと思うのですが、資料にあるように市民活動団体の夜間利用という のがキーワードなのかと思います。これについて、もう少し詳しく教えて いただければと思います。

所管課長

- ・コロナ禍前は、夜間の遅い時間でも定期利用されている団体が2~3団体あったため、夜間であっても高い稼働率でしたが、現在は、イベントハウスが午前10時から午後10時で開館している中で、特に午後8時以降の利用が低くなっております。
- ・これに関して、前述の団体についても調べましたが、一つの団体はまだ活動しつつも昼間の利用にシフトしておりました。また別の団体では、コロナに加え、講師の本業が忙しくなり、活動を中断したまま利用がなくなってしまいました。
- ・夜間に限らず、まずは市民活動団体の利用が戻ることが非常に重要になります。7月に団体の活動発表の場を2日間開催しましたので、そういった催しをすることも非常に重要な取り組みだと思っております。

委員

・夜間は、かなり多くの団体が利用しているのかと思いましたが、限られて いたんですね。

所管課長

・夜間でも様々な団体が利用されていますが、遅い時間帯である午後8時以

降でも特定の団体が定期的に利用されていたこともあり、そんなに低い稼 働率ではありませんでした。

委 員

- ・サービス向上への取組みの満足度向上の評価項目が満点ですが、特に評価 した内容や実施項目があれば教えてください。
- ・夜間の利用については、市民活動団体の夜間の活動、特に会合などはコロナで劇的に変わったかと思います。対面で集まるのではなく、ほとんどオンラインなどで会議をするようになり、そういう意味で施設をあまり利用しなくなったというのは、自分自身を振り返ってみても思いました。

所管課長

- ・コロナ禍のときに始めたストリートピアノという取り組みがあり、これは 駅通りに面した貸室の一角をパーテーションで仕切った場所で、貸室の利 用がないときは誰でも弾いていただけるものとして設置をしております。 コロナ禍のときに貸室の空きが非常に多くなったため、その状況を逆に活 用して、備品であるピアノを設置し、自由に弾いてくださいということで 始めました。貸室の利用がないときだけの利用になりますが、PRを続けて 次第に口コミでも広がり、今ではピアノを弾きたいから部屋を借りるとい う人も現れていると聞いています。そういったコロナをきっかけに始めた 取り組みが利用促進・満足度向上に結びついているとして評価しました。
- ・施設での直接のサービスではありませんが、以前からホームページのレスポンスがちょっと遅いという声があり、その解消を図ることを目的の一つとしてウェブサイトのサーバーを変更しました。これによりセキュリティの強化にも繋がっておりますが、ホームページのレスポンスが格段に向上したため、満足度向上への取組みであると評価しました。

委 員

- 全体収支に関しては納得感のある数字になっていると思います。
- ・物品販売における利用料金を通常料金の2倍から5倍にしたとの記載がありますが、これはどういう経緯で実施されたのでしょうか。

所管課長

・以前は、入場料を徴収する催し等で利用する場合は通常料金の2倍という 運用をしておりましたが、物販で利用する場合は通常料金の5倍まで徴収 できるように条例改正して、周知期間を経て令和3年7月から運用を始めま した。令和4年度は1年を通じてその運用をしましたので、利用料金が増加 した理由の一つだと考えております。

委員

- ・収支が健全化されているのであれば、5倍にしたことは非常に大きかった のだと思います。
- ・人件費の支出が予算に対してマイナス55万4,000円ですが、誰か辞められたということなんでしょうか。

所管課長

・職員や給料の減ということではなく、職員1人の指定管理業務以外の業務 の比重な大きくなり、按分によるそちらの人件費が大きくなったためで す。

委 員

・自主事業実績一覧の情報コーナー掲示とショーウィンドウ展に人数の記載 がありませんが、カウントできていないということなんでしょうか。

所管課長

・施設の立地が駅前通りとなっており、その通りに面したショーウィンドウを活用して、いろいろなものを展示することがショーウィンドウ展になります。そのため、どれだけの人に見ていただけたかのカウントができませんので、人数の記載をしておりません。

委 員

・ストリートピアノは人数が出おりますが、こちらはどのようにカウントしたのでしょうか。

所管課長

・自由に弾くことはできますが、部屋の空き状況との兼ね合いもあり、施設 側に一声掛けてから利用いただいておりますのでカウントできておりま す。

委員

・駅に置いてあるようなイメージではないということですね。

所管課長

・ホールのような貸室があり、そこの一角に置いてあります。

委員

・部屋を借りなくても使えるということで、その点でストリートということですね。

所管部長

・名称が紛らわしいですが、道に置いてあるわけではなくて建物の中の一角 に置いてあるというものです。

所管課長

・屋外ではありませんが通りに面した場所にありますので、ストリートとい う名称で実施しております。

委員長

・事務局に対し、評価意見の素案の確認を要請。

事務局

※ まちづくり推進課所管施設の評価意見の素案について確認。

委員一同

※ 異議なし

事務局

※ 市民活動推進課所管施設の評価意見の素案について確認。

委員一同

※ 異議なし

委 員

・全体の話になってきますけれども、前年度前々年度は、コロナ禍を抜ける ことを想定してどのように収益性を求めるかということを前提に評価す るという話だったと思いますが、まだ何かコロナが言い訳になっているの ではないかと感じました。コロナの影響が残っているのは否定しません が、それを踏まえてどうするのかというのが前回の評価になっていたと思 います。そうではなく、そのままコロナのことが引き継がれてる感じにな っているのが気になりました。

委員長

<市都市計画部>

・公園みどり課所管施設の評価結果及び運用状況の概要について報告を要 請。

所管課長

※ 所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。

委 員

- ・かみいしづ緑の村公園について、サービス向上への取組みの満足度向上が 3点中1点になっており、公の施設としての対応の地域貢献の項目も2点中1 点で、ちょっと地域に向けての取組みが消極的、あるいは利用者満足度に 関して消極的だと感じますが、所管部局として満足がいかない具体的なこ とがあれば教えてください。
- ・奥養老も、同じ評価項目の利用者増加に向けた具体的な取組みについては 3点中1点となっております。評価理由欄にはサービス向上に向けて食堂に 電子レンジを配置したことや、食事の選択肢を広げるべく実証実験を行っ たなどありますが、点数が低いのは、所管部局としていろいろ指導をして きたけれど改善が見られないということなのでしょうか。

委員

・関連して、昨年も近年のキャンプブームによって何かできるのではないか という議論があったと思います。指定管理者としてはかなり取り組んでる けれども、なかなか結果が出ないということなのでしょうか。書面で見る 限りは消極的な感じがしますので、モニタリングしている側としてはどの ように評価・監督してるのかお聞きしたいと思います。

所管課長

・地域貢献については、町内在住の方が主催者のイベントを地域の要望等に 応えて実施しておりますが、体験宿泊などそれ以外のことを実施したらど うかという提案をしました。しかし、コロナ禍ということでなかなかそう いったことも中止になるなど、あまりやりきれなかった部分がありまし た。

・インスタグラムでかなり発信等は始めましたが目標には達せず、いろいろ 発信や案内をしていくよう話しておりますが、コロナ禍で情報発信を控え るなど、なかなかそこまでは進んでいないということで、このような評価 としております。

委 員

外的環境が原因ではなく、まだできる余地があるけれども、できていないということですね。

所管課長

・外的要因もなかったわけではないと思いますが、コロナ禍でも活動面でさ らにできる部分はあったのではないかということです。

委員

・利用者アンケートを見ると、Wi-Fiを設置してほしいなどありますが、費用の面でちょっと応じられないというのが現状でしょうか。

所管課長

・ロビーにはついておりますが各部屋までは届かず、会議室等にもつけてほ しいという要望がありますが、現在そこまで対応できていない状況です。 また、キャンプ場やテニスコートのトイレを洋式化という話もあります が、こちらも同様に対応できてない状況です。

委 員

- ・本当に頑張っていろいろなことをやろうとされているという感想です。例えばかみいしづ緑の村公園ですが、本当に自主事業を一生懸命やろうという想定をされていて約2,000人もの参加者がありますが、決算としては約300万円の売り上げとなっております。これはやはりなかなか収入に繋がらないということなのでしょうか。約2,000人ですとかなりのボリュームで人が集まってるように感じますが、自主事業の収入を見ると約400万円の予算に対して約300万円の決算で100万円の差が出ておりますので、どうなのでしょうか。
- ・例えばキャンプ事業だと、もしかすると単価で積算すればなかなかの金額 になりそうな気配がしますが、それほどでもない感じですので、もうちょ っと何か改善の余地があるのでしょうか。

所管課長

・試行的に始めた部分もありますので、収支的にそのあたりは改善する余地があるのかと思います。予算収入が高めに計上されておりましたが、実際はデイキャンプやストライダーコースなどで収入が上がらなかった部分もあります。これは、コロナから脱してきたことでいろいろなイベントが開催され、自主事業に使えない日にちがかなり増えたというのが理由として挙げられますので、単価等収益上がるような対応を今後考えていきたいと思います。

委 員

- ・全体収支は18万3,000円の黒字ですが、予算の段階では事業収支が赤字に なっておりますので、予算の組み上げの段階で内容を精査していただいた 方がいいかと思いました。
- ・奥養老は予算が少ないですが自主事業で7,000円となっております。これ については、記載されている卓球利用が決算額の根拠ということになりま すか。

所管課長

・はい。

委 員

・どのような積算になっているのでしょうか。使用料だと50人利用したとい うことではなく、何件利用したということなのでしょうか。

所管課長

- ・台ごとの貸し出しだと思われます。
- ・かみしづ緑の村公園で、人数に対して収入が少ないというご指摘について の補足説明になりますが、コロナ禍の中で少しでも集客をするにあたって 周辺の類似施設を調べました。キャンプブームと言っても他にもいろいろ なところでできる中で、最初は料金を少し低めに設定して少しでも多くの 人に来ていただきたいという思いが、指定管理者にあるように感じました。
- ・初めは周知していくことが大事だと思いますので、少し安価でスタートしていますが、周知して人数が増えれば、他の類似施設に近い料金設定にしていきたいと思います。

委員

- ・過去の委員会で、民間企業が運営に名乗りを上げたという話が出ていました。なかなか厳しく実現しておりませんが、収益性に関してはかなり見込める施設だという認識だったと思います。ですので、少しその辺を踏まえた予算立てと実行管理を実現していければいいのかと思いました。
- ・どこまでかはわかりませんが、参画の希望を持っている民間事業者がいる ような話が聞こえてきますので、いろいろな形で変えていける一番の環境 なのかもしれないと思いました。ですので、そういったことも含め、ある 意味妥協なくやっていただくといいというのが正直な感想です。

委員長

・事務局に対し、評価意見の素案の確認を要請。

事務局

※ 公園みどり課所管施設の評価意見の素案について確認。

委 員

・コロナ自体がなくなったわけではありませんので、5類になってもずっと コロナの話を言い訳にされそうな気がします。

事務局

・評価が2になると、ルールとして指摘をしなければならなくなりますが、 先ほどの地区センターのように100%戻ってきたかというと、7割程度とい う事実がやはりありますので、今回だけは評価が2ですがコロナを考慮し 指摘はしません、とせざるを得ないのかと考えております。ただその言い 訳も今回限りという認識ではおります。

事務局

・5類になったのか令和5年5月からですので、令和4年度はまだ言わざるを得ないのかと認識しております。

事務局

・コロナが終わったら100%いつか戻るのかというと、例えば会議でもリモートで開催されるようになるなど、世の中の形態自体が変わってまったところもありますので、目標そのものを見直さなければいけないという部分も確かにあると思います。

委 員

- ・前回、その辺はもう踏まえたうえで、次回からどうしていくのかということを、かなり強く打ち出していたと思います。ですので、また同じような話になっているというのが正直な感想で、若干残念かと思います。
- ・こういう状況になると思って頑張ってこれをやってみましたが…、というような話が出てくると、そういうことだと思っていましたが、そういった感じではなかったのが残念でした。
- ・数字は漸増ですがまだコロナの影響があります、というのがやはり当事者 感覚のコメントじゃない感じがして、とても気になるところです。

事務局

・コロナの影響があるというのをこちらから言うのはいいですが、向こうが コロナですからというのは確かに違和感があります。

委員

- ・コロナは無くなってないから影響がまだ残っているというのが、これからずっと何年も続くような気がして残念だと思っていました。
- ・影響が残っているとは言っても、人の動きが活発になってきたからこれを やる、こういうふうにしていくという、前向きな話があるととても嬉しか ったです。

委 員

- ・コロナの影響で変わった面もありますが、コロナ後のリベンジ消費とかも 言われていますので、それもあると思います。
- ・5月からというのは確かにありますが、そこに向けて何か準備してきた形跡があり、取り組みとしては評価したけれども、数字としては上がっていないため目標値は届いていない、くらいがちょうどよかったのかと思います。ですが、取り組みもあまり実施しておらず、それを言葉で説明してい

るというように見えました。

委 員

・数字が上がってなくても、一歩踏み込んだような話が入っていればよかっ たです。

事務局

・今の話を全体意見に取り入れるような形でしょうか。

委員

- ・そうですね。
- ・これは市側の管理姿勢をやはり少し修正する必要もあるかもしれないとい うふうには思います。これからはそうあってはいけないので、もう少しこ の辺を頑張ってもらいます、というような本当に強い意見で全然いいと思 っております。そういったことが今の段階で少し気になりました。

委員長

<教育委員会事務局>

・社会教育スポーツ課所管施設の評価結果及び運用状況の概要について報告 を要請。

所管課長

※ 所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。

委 員

・青年の家について、サービス向上への取組みのサービス等の充実は3点中3 点、地域連携でも2点中2点と高い評価になっている一方で、収支に関する 項目の財源確保や業務効率化はそれほど高い評価になっていませんが、所 管部局としてもっとこうして欲しいことや改善点を何か考えていたら教 えてください。おそらく事業としてはすごく熱心にやっているけれども、 それが収益に結び付いていないのかと思います。

所管課長

・様々な事業を実施はしておりますが、参加人数が少ないといった関係もあるかと思います。また、令和4年度の前半については、まだ各利用団体自体が活動を自粛していたこともあり、宿泊が少なかったといったことも影響してるのかと思います。令和5年度はそういった制限がないため、利用は増えていくと考えております。

委員

- ・健全化・効率化への取組み以外の項目は比較的評価が高い一方で、目標数値があまり上がっておらず、結局健全化・効率化つまり収支に連動しているという話かと思います。
- ・取り組み自体は所管課としては評価しており、成果が上がらない理由はコロナの影響で説明がつくのだとしたら後半は成果が出るように思いますが、今年度もそういった状況が今見られるということですか。前半はなかなか数字が出なかったが、後半に向けて右肩上がりで来ているのであれば

今後は心配ないですが、そこが重要かと思います。そうじゃないとしたら、 ちょっと取り組みに対する評価が甘いのか、好意的になっているのかどっ ちなのかと思いますので、教えてください。

所管課長

・コロナ禍前には近づいている状況ではあります。

委員

・本当に率直な意見を申し上げて、これはどのように今後管理していくべき なのかということを、共通理解として見出したいということです。

所管課長

・令和4年度は青年の家50周年ということで、50周年事業を自主事業において無料で開催しておりましたので、支出が多くなったということもあるかと思いますが、指定管理事業自体はしっかりやってもらっています。

委 員

・所管部局として事業自体や取り組みに対しては、点数が上がっていることからも満足していると思います。一方で、目標に達してないことと、収益つまり収支健全化には難点があるという評価をしていると思います。そこについて、取り組みはしているが収支状況が悪いことに関して何かもっとこうしてほしいことがあるのか、そうではなく、前半はコロナが数字に影響してるだけで、後半以降これから右肩上がりであり、前半に対する総合評価となっているだけなのかを教えてください。

委員

・単純に収益が上がらなくて健全化に至ってないということですね。

所管課長

・そうです。

委員

・一方で、野外活動センターは取り組みに対しては結構シビアな評価になっていると思います。この施設は他と比べても0点が頻発しており、ソロキャンプの影響で目標に達していることで60点に到達しています。収入増などの健全化に関する項目や中長期の施設に関わるような項目に0点がついている状況なので、もう少し事情があれば教えてください。

所管課長

・無料の施設ですので、収益性が見込めないというのが大前提にあります。

委 員

・そもそも評価項目が適さないということですか。

所管課長

・無料施設なので、黒字化の評価項目はなかなか難しいです。

委 員

利用料金は無料だと思いますが、新たな財源の確保や収入増というのは、 利用料金以外のところでそういった工夫ができないのかという意味だと 思います。それでも不可能な実態でそういう施設となって、初めてその評価項目がそぐわないという話になると思いますが、おそらくそういうわけではないかと思います。

所管課長

・利用料金以外の収益というのもないかと思います。

委員

・利用料金以外の収益も難しいですか。

所管課長

・道具の貸し出しはありますが、ほとんど使われないため、収入源としては 何もないです。

委 員

・新たな収入源を作るような策も難しいということですか。

委員

・貸し出しがあるということは人はいるわけですよね。

所管課長

・指定管理者である地元の自治会で予約や受付も含め管理しています。

委 員

・上石津ふれあいグラウンドのアンケート結果が、例えば施設の清潔さや駐車場の利用のしやすさが比較的低い評価になっておりますが、何か理由等 把握していますか。元々の母数が少ないですが、他の施設と比べてそう言 わざるを得ない状況が何かあるのかと思いました。

所管課長

・上石津ふれあいグラウンドには常駐しておりませんが、隣接する上石津総 合体育館に職員が常駐して管理しておりますので、トイレ自体きちんと整 理され、清潔さに問題はないかと思います。

委員

・使われたタイミングでとても汚れていたとか、何か事情があったのかもし れませんね。

委 員

・青年の家ですが、クラブいちちゃれというのはどういうものなのでしょうか。

所管課長

・令和4年度から始めた自主事業で、障害のある小学生とその家族を対象に いろいろなレクリエーションなどを行う事業です。

委員

・収入に対して支出が倍額で想定されており、赤字予算となっている点がど うかと思います。自主事業では、指定管理施設の中でも比較的収益性が見 込める施設だと思いますので、収益性が上がるので頑張ってくださいとい うのが、毎年ずっと指摘事項になっています。それに伴って、自主事業く らいは収支均衡にするか、少し黒字にするくらいだったらまだ話はわかりますが、そもそも赤字予算を立てていることについては、いかがなものかと思います。

・指定管理業務の支出で、給与の予算が約1,300万円に対して決算が約1,200万円となっております。専従の職員がいるということも以前からわかっていることですが、給与の想定自体が職員配置にきちんと適応してるかどうかという点と、100万円の差が出ている理由は何か聞いていますか。

所管課長

・年度途中に所長が退職したため減っております。

委 員

・職員数はそれで確保されてるんでしょうか。

所管課長

・他の職員でカバーしていました。

委 員

- ・収益性を求めるような取り組みという話は前回しており、例えば上石津の 自然を活用した施設と連携して事業をやるのもできるのではないかとい う話もしましたが、全くそういう雰囲気がありません。どうも収益を上げ るということに対して理解がないというふうに伝え聞いておりますので、 ここは収益を上げてもらう必要があるのではないかというのが正直なと ころです。
- ・大垣城ホールの利用実績について、大ホールだけ貸出数等記載されておりますが、諸室を貸し出せなかったということなのでしょうか。それとも貸し出しをそもそも想定していなかったということなのでしょうか。特に止めたという形跡はありませんので、なぜこういう記載になったのか疑問です。
- ・体育施設全体に言えることですが、自主事業の収支が想定されているのに 内容の説明がありません。金額の根拠が書いてないということになる思い ます。もう何年も前から収益性が必要だという話をしている中で、頑張っ て収支を黒字にしてきた経緯があったと思いますが、何を実施したのかわ からないというのは、大丈夫なのかと思います。添付資料もありますが、 これは何が何に該当してるのかがわかりません。こういうのは、ここに書 いてあるからいいだろうという話ではなく、健全な会計としてきちんと執 行されているのかどうかが若干疑問に思えてきますので、何をやり、それ はどういうことだったのかという整合性が取れていることが大事だと思 います。
- ・総合体育館についても、自主事業の決算収入が約2,400万円もあるにもかかわらず、中身がわかりません。後でまとめがありますが、どこの施設のどの金額にどのように想定しているのかがわからないと、健全な会計なのかという話になると思います。何をやって、何人が参加して、どのぐらい

収入があってどのぐらい支出したのかがあって、適正か適正じゃないかが 見れると思います。

- ・青年の家について、事業実績一覧の参加者数はカウントされていて説明は 全部抜けておりますが、これはどういうことでしょうか。延期が続いてい るのかコメントがないのかちょっとこれもわかりません。一方でジュニア リーダーズクラブには記載があります。これも、きちんとした集計がされ ていてどうやって収入を得ようとしたのか、それによってどのような成果 があったのか、それに対してお金がどれだけかかったのかという話だと思 います。それが適正か適正じゃないかって話になると、適正じゃない会計 があるような感じになりかねないですので、その辺はきちんと管理をした 方がいいと思います。
- ・きちんと説明する気がないのか、事業としてきちんと管理するという意識 がないのかと見られてしまいます。

所管課長

・特記事項となっておりますが、事業内容をもっと詳しく書くということで すね。

委 員

- ・何をしようとしたかが評価の対象になり、どういう努力の形跡が見えたのか、成果としてみえたのかも評価の対象になります。
- ・これからお金の使い方についてはかなりシビアになっていく可能性がありますので、どうやって収益を上げたのか、それによって指定管理料がどの ぐらい削減できたのかに繋がっていくような気がします。
- ・社会福祉関係の事業は肥大化していく可能性がやはりあるということです ので、収益性が見込める施設については積極的に求めていく必要があると 思います。市の関連団体だから大丈夫だという話だとしたら、何とかする 必要があると思います。

所管課長

・記載方法については統一をしていく必要があると思います。

委 員

- ・数字だけ上がっていて何をやったのかわらないというのは、何に予算を使ったのですか、という話になります。
- ・いろいろと人の絡むことですので大変だと思いますが、そういうことになってしまうとお互いに不幸な結果になる可能性もありますので、それはできるだけ避けたいということをお願いしたいと思います。

委員長

・文化振興課所管施設の評価結果及び運用状況の概要について報告を要請。

所管課長

※ 所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。

委 員

・アンケート結果を見ると利用者には高齢者が多いということですが、今後 も同じような推移でいくと予想しているのか、それとも若い世代の利用を 促す取り組みをされているのか、現状維持で高齢者に使いやすい施設を目 指すといったような何か意図などはあるのでしょうか。

所管課長

・アンケートは、全ての利用者ではなく事業の主催者に対して行っておりますので、どうしても年齢層が高くなる傾向がありますが、実際の利用者の方も現状ではかなり高齢の方が多いというのが実情です。指定管理者におきましてもお子さんや若い方向けの企画を意識して考えて進めており、市としても若い方の利用も増やしていきたいと考えております。

委 員

・市民会館の地域連携に関しては、廃止といえども1年間実施することで地域コミュニティに与えるプラスの効果はありますので、今後取り組まれる つもりがあるかどうか教えてください。

所管課長

・元々施設の性格といたしまして、サービスセンターといった地域と繋がる 施設も入っております。施設の廃止ということもあり、どういった取り組 みができるかわかりませんが、やってもらいたいという話をしているとこ ろです。

委 員

・実際のところは市のコロナ関係業務に貸し出しをして、収入が増えて稼働率も上がりましたが、それ以外の一般利用者数にも影響を与えたという評価だったと思います。それも形式としてはそういった評価になるけれども、そうならざるを得ないということでしょうか。

所管課長

・機械的にこの評価の仕方でいきますと結果としてこうなりますが、実際のところは、行政的にコロナの対応や交付金の対応をするために、施設を確保せざるを得ないという状況があり、市民会館を使っていますので、正直こういった形の評価になじまない状況になっていると感じます。一般の利用がないのに数字上の稼働率だけは上がり、当然国からの収入がありますので利用料金収入も上がっているということで、この辺りが指定管理者の努力としては評価し難いところがあり、この数字と一般的な評価とはなじまないというのが現状かと思っております。

委員

・学習館、文化会館及び専用駐車場も地域連携には課題があるのかと思いま したが、それに関して何かあればお願いします。

所管課長

・地域との活動の中では、周辺の清掃などを行っておりましたがコロナで自 粛しており、ようやく再開してきたというところです。ご指摘のように、 地域連携ということが少し弱いところがありますので、指定管理者に求めていきたいと考えております。

委 員

・利用者数の今後の見通しについて把握されていることはありますか。

所管課長

- ・利用者数は徐々には回復しておりますが、令和5年度第1四半期でもまだ8 割程度にしか戻っていない状況で、なかなか完全には戻っておりません。 数字だけ見ると右肩上がりに戻っているように見えておりますが、どこま で回復してくるのかが見込めないような状況です。
- ・特に令和4度は、まだ施設の利用について各主催者が自主的に判断している部分もありましたし、事業の内容によって声を出したり歌ったり、あるいは管楽器の使用といったことに制限もありましたので、そういった制限が無くなった中でこれから一定程度は回復してくるだろうと見込んでおります。
- ・これは指定管理の問題とは別かもしれませんが、様々な文化活動を行う団体が高齢化とともにコロナの数年間でかなり弱体化し活動が弱まっているところがありますので、そういった団体をうまく喚起するような取り組みをして、盛り上がってほしいという思いですし、市としてもやっていかなければいけないと思っております。なんとか前の形に戻していく努力を一緒にしていきたいと考えております。

委 員

・市民会館ですが、コロナに関連した施設として1年間ずっと使われていた のですか。

所管課長

・令和3年度からで、期間としては令和3年度の方が長かったため、令和4年 度は少し数字が下がってきています。

委員

・コロナ関連のことで使ってない時期に、講演会やアサガオの種の無料配布 などを実施されたのですか。

所管課長

・はい、令和4年度から始めております。目標指標の利用者数及び稼働率の 達成度は、令和3年度でそれぞれ183%と471%となっており、数字だけは 非常に高い数値となっておりますが、令和3年度はコロナ関係での特殊事 情のピークの時期で、これが収まってきたのが令和4年度になります。こ の時期に自主事業として新しくそういった取り組みを始めました。

委員

・そういった理由で、サービス向上への取組みの評価があるということです ね。

所管課長

・新しい事業を始めたことと、コロナ対策室等のためのサービスを利用者サービスと言っていいかわかりませんが、少ない人員配置の中で休館日である水曜日も開館しておりました。人員が4人しか居ない中で休館日を回すのがなかなか大変でしたので、そこは評価できるかと思いました。

委員

・一方で学習館、文化会館及び専用駐車場の評価は、サービス等の充実や満 足度向上の評価が、市民会館と比較して少し低くなっていますが、もっと このようにできたとかして欲しかったということがあったのでしょうか。

所管課長

・市民会館と比較して貸室もたくさんありましたし、ある程度の制限がありながらも稼働しておりました。そういった中で工夫や取り組みもありましたので、それはそれで評価をしておりますが、もう少しそういった取り組みなどの余地があったのではないかということで、このような評価をしております。

委 員

- ・非常に頑張った形跡が数字からも見受けられるというのが正直なところで す。自主事業もきちんと内容が記載してあり、それなりの成果を上げよう と努力されています。実際に目標値まではいかないにしても、そういった ことを頑張っているというのがよくわかるようになっています。
- ・学習館、文化会館及び専用駐車場では、各貸室の細かい部分にも全部数字が入っており、細かく管理されてるということもよく理解できます。
- ・実際に収入も頑張って上げておりますし、コロナ云々とはいえ収益もきちんと上がるところは上げ、成果を上げてきているのは非常に素晴らしいと 思います。
- ・頑張って収益を確保することもできるということを示していると思いますので、非常に良い事例として挙げられるのではないかと思います。
- ・コロナで収益が上がったっていうのは皮肉な話ですが、しょうがないと思います。

委員長

・事務局に対し、評価意見の素案の確認を要請。

事務局

- ※ 社会教育スポーツ課所管施設の評価意見の素案について確認。
- ・青年の家と体育施設につきましては、先ほどと同様「自主事業についても 収支均衡を図るよう求めます」ということを追記します。

委員

・収益性の向上を求めるという話も必要かと思います。

事務局

・ご意見を踏まえ、青年の家と体育施設につきましては「収益性向上の努力

を求めます」ということを追記します。

委員

- 資料のまとめ方はどちらに求めたらいいのでしょうか。
- ・不正経理にとられる可能性があることをきちんと理解しておかないといけないと思います。

事務局

・特に特定指定で選定しようとしているのなら、もっとしっかりやってもら わないといけないと思います。

委員

・指定管理者だけでなく、所管部局にも認識して指導してもらい、それを経て事務局に提出されるべきですね。

事務局

- ・所管部局が特定指定にすると判断するのであれば、もっときちんとやらせ なければいけないのは間違いありません。
- ※ 文化振興課所管施設の評価意見の素案について確認。

委員一同 | ※ 異議なし

委員長

<企画部>

・情報企画課所管施設の評価結果及び運用状況の概要について報告を要請。

所管課長

※ 所管施設の業務評価票及び事業報告書について報告。

委員

・以前から高い評価で推移しており、施設の性格上もあるかと思いますがコロナ禍の中でもオンラインでの対応等工夫していました。今後、ChatGPTなどにもチャレンジしていくのかと思いますので、そういった部分に期待したいと思います。

委 員

- ・令和4年度はまだコロナが5類になる前ということで、その影響に伴う利用 者数などが目標達成に及ばないという説明が、多くの施設であったと感じ ております。
- ・この施設の特性上オンライン等を活用しているため、目標値が達成できる という推察もできますが、目標指標の交流サロンが対面であっても達成し ていることを見ると、それだけではないのかと思います。誘客という点で も施設の特性であるITツールを上手く活用している部分があるかと思い ますが、コロナに関係なく目標が達成できることについて、管理者として 感じている点があれば教えてください。

所管課長

・利用者目線というところは、非常にしっかりやっていると感じております。 コロナが落ち着いてきたことでオフラインでの研修に戻ってきましたが、 Zoomでやりたいという方も見えますので、オフラインで行いつつZoomでも 対応できるという形で行っている点は、非常に評価できるかと思っており ます。

委員

・講師の方は基本的に同じなのでしょうか。

所管課長

・講座内容によっては変わるかもしれませんが、基本的には同じ方が企画されているかと思います。

委 員

- ・アンケートが生データかと思いましたので、同じ方ならまとめてしまってもいいのかと思いました。
- ・特に問題のない対応で本当に素晴らしい施設ですので、さらに改善を目指すのであれば、例えば難しかったところはどこだったのかというようなことをまとめて、対応できることとできないことがわかるといいのかと思いました。

所管課長

・例えばこどもICT学級では、講師が同じでも内容が異なってきますので、 しっかり分けておいた方がいいのかと思います。実際にロボットの作成や プログラミングといっても、講師からすると教える生徒も毎回異なります ので、しっかりアンケートを取りながら反映させていきたいと思います。

委員

・例えばこどもICT学級も基本的に同じ講師の方が教えるのですか。

所管課長

・基本的には同じ講師が担当しますが、それに対して支援員が数人付きます ので、この列にはこの支援員という様になり、受講された方の感触が変わ ることはあるかと思います。

委員

・指定管理業務の収支に関しては妥当性を非常に強く感じております。一方 自主事業に関しては逆に、本来は収益性を上げるための事業になるべきか と思います。収支比を見ると98%強くらいになっておりますが、何か理由 があるのでしょうか。

所管課長

・自主事業のICT実践研修事業では、予定していた講座が中止になったとい うことが大きな理由になりますが、これはニーズに合ったものになってい なかったかと思っております。ここをもう少しニーズのあったものにして 収入を上げることでかわると認識しておりますので、指定管理者としっか り協議しながらニーズに沿った講座を実施できるよう考えております。

委 員

- ・単純に参加者が2倍になれば、ちょうど合う数字になるのかと思いました。 バランスよくするというのは難しい話ではないぐらいの人数という気が しますので、こういう一押しの努力が必要というのが正直な感想でした。
- ・開講人数に満たない講座の件数が結構あったのが気になりました。
- ・全施設の中でもかなり収益性を求めることができる施設だと思っておりますが、その割には比較的安定的な数字となっており、それを毎回指摘していたかと思います。おそらく専門性の高い施設であり、非常に特異性があって他の競合も多くないような施設ですので、もっと積極的に打ち出していき、大垣市をIT先進の自治体にするくらいの勢いでやっていただく方がいいような感じがします。
- ・いろいろな事業を多数打ち出してトライをしているのがよくわかり、これ については特に問題はないかと思いますので、収支を考えた事業という視 点も必要なのかと思いました。

委員長

・事務局に対し、評価意見の素案の確認を要請。

事務局

※ 情報企画課所管施設の評価意見の素案について確認。

委員

・高い収益性を求めるような文言を入れてください。

事務局

・ご意見を踏まえ「高い収益性が見込める施設であるため、更なる収益性を 意識した取り組みを期待します」ということを追記します。

委員一同

※ 異議なし

委員長

<委員会評価結果の総括>

・評価結果の総括の確認を依頼。

事務局

- ※ 総合評価結果(報告)の素案の確認。
- ・アフターコロナの施設ビジョンの明確化
- ・収支のバランスを意識した施設運営
- ・地域連携への積極的な取り組み
- ・地域外も含めた更なる施設利用を促すアプローチ
- ・所管部局による指定管理者への積極的な関与

委員長

意見はありませんか。

委 員

・収支のバランスを意識した施設運営については、収益性を求めるところは

収益性を求めるということも謳う必要があると思います。

・基本的な管理の手法やコンセプトは形になってきていますので、それについては大丈夫だと思います。

事務局

・委員の皆様には、ご意見・ご指摘を賜り、ありがとうございました。それでは、以上で令和4年度指定管理者評価委員会を終了いたします。委員の皆様、どうもありがとうございました。

※ 閉会(終了時刻:午後4時25分)